

留学生交流会 「海外から見た日本、日本に伝える海外のいま」

1. 概要

留学生から各国の現状や文化について聞き、日本との関係について考えることで、グローバルな視野を身につける。

学科合同で交流会に参加することで、お互いに学び合う機会とし、学校の国際教育推進の機会とする。

2. 事業内容

- (1) 実施日時 平成30年11月13日(火) 6、7限
- (2) 参加生徒 1年国際探求学科40名(男子12名、女子28名)
1年サイエンスリサーチ科40名(男子27名、女子12名)
- (3) 留学生出身国 ベトナム、香港、イタリア、ブラジル、中国、カンボジア、インド、ギリシア、アルバニア
- (3) 留学先大学 神戸大学、関西学院大学

3. 事業の効果とその評価

国際探求学科、サイエンスリサーチ科からなる7～8名の班にひとりずつ留学生を迎えて交流し、各国の情勢や文化を知るだけでなく、海外の若者の考え方や見方を知り、留学生の視点で日本を学ぶことができた。国際探求学科、サイエンスリサーチ科合同で交流会に参加することで、お互いに教え、助け合う機会となった。

【生徒の感想】

- ・留学生の方の国についてもっと知りたくなった。自分がもっと英語力をつけていきたいと思い、英語に対する意欲が増した。
- ・インターネットで調べるだけではわからないことがたくさんあるのだということを強く感じました。お二人とも文化や観光についてなど詳しく話してくださり、もっと知りたいと思いました。

